

平成30年4月13日
航空局運航安全課

小型航空機の操縦士向けの安全啓発動画を公開 ～小型航空機の安全な運航のために～

近年の小型航空機の事故の発生状況を踏まえ、小型航空機の操縦士向けに具体的な事例を用いて安全啓発・注意喚起を図るための動画を本日公開しました。

近年の小型航空機の事故の発生状況を踏まえ、小型航空機の操縦士向けに安全啓発動画「その時、あなたならどうする？～小型航空機の安全な運航のために～」を本日公開しました。

我が国における過去15年間（2002～2016年）の小型航空機の事故の発生傾向分析で特にリスクが高いとされた

「LOC-I（Loss of Control Inflight：飛行中の制御喪失）」

「CFIT（Controlled Flight into or toward Terrain：操縦士が気が付かないうちに地表に衝突）」等をテーマとして、具体的な事例を用いて日常運航で陥りがちな落とし穴やその対処方法等について学ぶことができます。

この動画は、NPO法人AOPA-Japan、（公社）日本航空機操縦士協会、（一社）日本飛行連盟から動画への出演、監修などの御協力を頂くとともに、「小型航空機等の安全推進委員会」における有識者等の御意見も踏まえ作成したものであり、mlitchannel（以下URL）で公開しています。

■ その時、あなたならどうする？～小型航空機の安全な運航のために～

URL：mlitchannel（<https://www.youtube.com/user/mlitchannel>）

（別添1）小型航空機の操縦士向け安全啓発動画の公開に当たっての関係者コメント

（別添2）小型航空機の操縦士向けの安全啓発動画の概要

【お問い合わせ先】

航空局安全部運航安全課 千田、山内

TEL 代表 03-5253-8111（内線50-121、50-133）

直通 03-5253-8737

FAX 03-5253-1661

小型航空機の操縦士向け安全啓発動画の公開に当たっての関係者コメント

1. 今橋 一成・NPO法人AOPA-Japan会長

空を飛ぶ航空機を運航する私達にとりまして、運航の安全は最も重要な事です。

この度、安全運航啓発用動画作製にあたり、航空局と私共航空団体が共に安全を目指して共同作業をさせて頂きました事は、画期的な試みであると思われま

す。安全はパイロットが自ら高い意識を持って守らなければなりません。

この動画が自家用パイロットの安全飛行に大いに寄与する事を願っております。

2. 下枝 堯・公益社団法人日本航空機操縦士協会会長

「自由に、そして楽しく空を飛び廻りたい」とパイロットは願っています。しかしながら、それは安全の確保がされてこそ実現するものです。一人で運航することが多い小型機のパイロットとしては、過去の事象事例に学ぶとともに、常に新しい情報、知識の習得、技倆の研鑽を続けることが大切になります。本動画では、小型機運航時に比較的陥りやすく、その状況次第では重大な事故ともなりうる事例を取り上げています。是非、動画への登場人物の視点から注意点を再確認頂き、更なる安全運航に努めて参りましょ

3. 中澤愛一郎・一般社団法人日本飛行連盟理事長

当社団では長年に亘って航空機の安全運航に関して、注意喚起や講習などを実施して参りました。機体運航者も当然、航空機の安全点検や操縦法を心得てフライトしていると思いますが、それでも事故はなくなりません。今回の航空局が配信する動画は全国のパイロットに対する事故防止のため、「基本に忠実に立ち返り、確実に実行する」これらをあらためて示す内容構成となっていると思います。当社団は2カ所の飛行場を管理運営する立場でもありますので、事故の要因を少しでも減らす手本としてあらゆる場面で積極的に活用していきたいと思

4. 高野 滋・国土交通省航空局安全部長

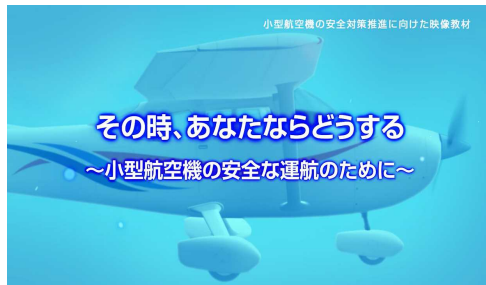
航空機の運航には安全確保が何よりも重要であり、このため、高い安全意識を持って法令を遵守し、無理のない飛行計画に基づき、基本に忠実に運航することが必要です。今回公開した安全啓発動画は、リスクの高い事例を用いて具体的な注意点や対処方法を取り上げていますので、日常運航における自らの操縦の振り返り、安全講習会、操縦技能審査・訓練などで是非積極的にご活用ください。

また、本動画の作成に当たって多大な御協力を頂いた関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

以上

小型航空機の操縦士向けの安全啓発動画の概要

概要

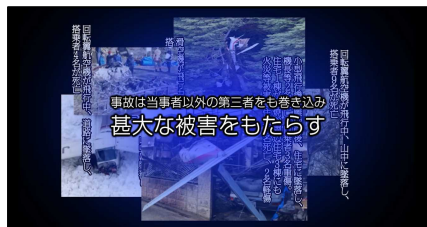


我が国における過去15年に発生した小型航空機の死亡事故の傾向を分析した結果、「LOC-I (Loss of Control-Inflight)」及び「CFIT (Controlled Flight into or toward Terrain)」の発生率が高いことから、LOC-I,CFIT等をテーマに「技量・知識向上」、「安全意識の徹底」を図るため、SRM(Single Resource Management)の考え方も盛り込み、ビデオ教材を作成。

ホームページ掲載やYouTubeによる配信、安全講習会における教材の利用

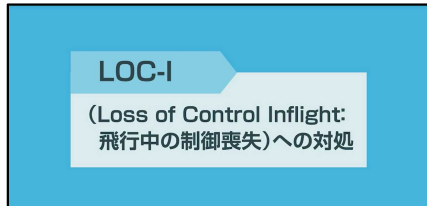


動画構成



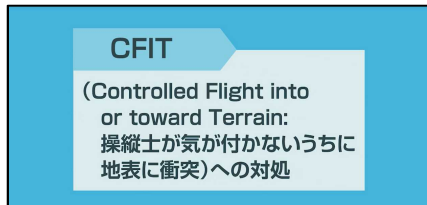
① イントロダクション

近年の小型航空機の事故に対して、事故防止の観点から操縦士が基本的知識を再確認し、安全に対する気構えや安全意識を向上させるために作成した教材であることを紹介



② LOC-I

過去の事故発生分析で死亡リスクの高い「LOC-I」について、具体的事例を通して、出発前の確認及び飛行中の状況認識の把握の重要性をわかりやすく説明



③ CFIT

過去の事故発生分析で死亡リスクの高い「CFIT」について、具体的事例を通して、気象情報の飛行前、飛行中の確認・把握、機体状況変化や航空交通状況に係る把握の重要性をわかりやすく説明



④ 飛行前の機体異常・緊急事態の対処

機体異常の防止について飛行規程による飛行前点検を確実に実施することの重要性、並びに緊急事態が発生した際に的確に対応できるように日頃から緊急事態の備えを実施する必要性や重要性をわかりやすく説明

(例) LOC-Iの紹介

① 日常フライトにおけるありがちな落とし穴を紹介



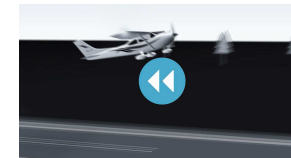
急に乗せてほしいと言われ重量計算せずに乗せてしまう

② 落とし穴が原因による航空事故の恐ろしさをCGで紹介



CGによる操縦不能シーン

③ 事故をプレイバックし、どこで事故を防げたのかを紹介



正しい判断をする場面まで巻き戻し

④ 安全運航のための正しい判断方法について紹介



重量を再計算して重量オーバーを確認